

1 講座概要

日 時	令和元年 12 月 18 日(月) 18:30~20:30
会 場	真狩村役場
運 営	真狩村総務企画課企画調整係係長 松枝 主範 (株)日本コンサルタントグループ 研究員 中村 桂 道立生涯学習推進センター 主査 久末 考勇
参加人数	14 名



【説明の様子】

2 プログラム概要

- 開 会
- 説 明「前回までの内容説明 (村の魅力について)」

説明者 真狩村総務企画課企画調整係係長 松枝 主範

- 協 議「魅力を活かしたまちづくりを考えよう」

進 行 (株)日本コンサルタントグループ 研究員 中村 桂



【グループ協議の様子】

3 講座内容と参加者の様子

前回話し合った内容を再度確認した中で、いくつも出された魅力ある資源をどう活かすかについて、3チームに分かれ話し合いを行いました。

羊蹄山の魅力を活かしたまちづくりの発案が多くありましたが、羊蹄山を映すスポット探索を村民が行い、村への関心を高めることで、自ら村をPRしていく案や羊蹄山自然公園の再開発により、キャンプする人の聖地にする、パワースポットにするというアイデアも出されました。

また、ニセコ・倶知安で働く人が多くなり、真狩村は今、移住補助金を充実し、定住促進を行うべきだという考えも発表されました。

移住者、職種の違いなど普段話さない人同士やいつも顔を合わせているグループもありましたが、自由な意見交換の中からまちづくりの内容や効果をグループごとに発表し、全体で確認することができました。

最後に次回、「プロジェクトを動かそう」というテーマを確認し、閉会しました。



【グループ協議の様子】



【グループ発表の様子】

4 アンケートの結果

事業の効果を測るため、前回同様の項目を設定し、アンケートを事前と事後実施した。尺度として、関心の度合いを4段階の数字を選択する方法でその平均値を示している。「みらい会議」に参加する人は、少なからずむらづくりに関心が高く、今回のテーマ「魅力を活かしたまちづくり」について話し合うことで、より具体的なイメージを持つことができ、アンケートでもすべての項目で、0.2~0.5ポイント高くなった。最後のテーマ「プロジェクトを動かそう」では、まちづくりを行う上で何が大切かを考える機会となるため、地域づくりへの関心度合いが上がったと考えられる。

項目		事前	事後
1	真狩の未来に対する関心	3.5	3.8
2	まちづくりに参加したい気持ち	3.2	3.5
3	地域住民が主体的に活動することの必要性	3.4	3.6
4	役場と住民が協働することの必要性	3.4	3.9
5	地域住民が地域の未来を話し合うことの必要性	3.5	3.7

数値は参加者14名の平均値(小数第2位を四捨五入)